平成28年度 施政方針

はじめに

本年4月には合併後、市制10周年を迎えます。この節目を迎えるにあたり、これまでの取り組みの成果を礎に、初心を忘れることなく、諸施策を力強く推進し、これから20年30年先のまちづくりに想いを馳せ、さらなる安全安心なまちづくりに全力を尽くし、未来へ着実に歩みを進めていこうと、決意も新たにしております。

さて、わが国の人口は少子化と高齢化が同時に進行する、人口の急激な減少に向かっており、今までにない極めて難しい対応を迫られています。

その対応として、国において「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が決定されました。

本市はこれまでも、「子育てするなら弥富市へ！」として、子育て支援や教育環境の整備など、未来を担う人づくりに力を入れてまいりました。その結果、本市の人口は順調に増加してまいりました。しかし、長期的には減少していくことが予測されており、深刻な問題として認識し、対応をしていかなければなりません。

本市といたしましても、策定した弥富版「人口ビジョン」と「総合戦略」のもと、必要な施策を実施することで、将来にわたってまちの活力を維持し、市民の皆さまが住んで良かった、住み続けたいと感じ、また市外の皆さまにも移り住みたいと思っていただけるようなまちづくりを進めてまいります。

市政運営の基本方針

市政運営に当たっての重要な視点として、引き続き3つの視点をもって取り組んでまいります。

1点目は、「もっと災害に強いまちづくり」であります。

市民の皆さまの安全安心のため、災害対策は最重要課題として取り組んでまいります。

伊勢湾台風、東日本大震災など災害の教訓を決して忘れることなく、また、北関東・東北地域の豪雨災害をはじめとする「かつて体験したことが無い」「数十年に一度」などと形容される異常気象による災害が相次いでいます。

これらの災害を教訓として、防災に対するハード面、ソフト面の対応力の強化が大変重要であり、これからも市民の皆さまとともに、さらなる安全安心なまちへと積極的に防災・減災に取り組んでまいります。

2点目は、「もっと人に優しく健やかなまちづくり」であります。

少子高齢社会を迎え、生涯のなかで健康に生活ができる健康寿命の延伸が自治体の共通課題となっています。

これは、子どもから高齢者まで誰もが健康で、生きがいをもって暮らし、長生きして誰もが幸せだったという社会を実現させていくことであります。

誰もが願う健康、それは「まちの健康」にも繋がるものであり、健康を追求する取り組みを積極的に進め健康都市の実現を目指してまいります。

3点目は、「もっと豊かで活力あるまちづくり」であります。

本市の持つ地域特性や資源を最大限に生かし、安全性・快適性などの住みよさ、文化・自然などの魅力、豊かさ、美しさ、楽しさなど本市の魅力を発信する取り組みに力を注ぎ、本市の顔でもある鉄道駅周辺や、市街化区域の拡大など都市機能の向上を進め、活力あるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

主要な施策

市制10周年の節目は本市の魅力を確認、再発見するとともに、活力に満ちた本市の将来を展望し、更なる飛躍・発展に向け躍動する契機であると考えます。これを全市民を挙げて祝うとともに、あらためて、このまちに誇りを持ち、まちを愛する心をさらに高める機会となるものであります。

市制10周年を迎えるにあたり、先駆けてキャッチフレーズとロゴマークを募集し、キャッチフレーズは『LOVE10弥富～みんなの笑顔でつくる街』とし、今後、市制10周年を盛り上げ、弥富市のイメージアップとPRにつなげるため、ロゴマークとともに年間を通して使用してまいります。

市制10周年記念事業として、記念式典をはじめ、本市在住の劇作家によるミュージカルの公演、テレビ・ラジオの公開番組や、市民の皆さまに参加していただける事業を展開してまいります。

定住と交流、活力を生むまちづくり

●道路・交通網の充実

交通の要衝のまちとしての機能を一層強化し、市の発展の可能性を高めるとともに、市民の安全性・利便性の向上を図るため、都市計画道路名古屋第3環状線、主要地方道弥富名古屋線をはじめ、道路整備促進について関係機関へ要望してまいります。

市内を南北に結ぶ地域連携軸として、中央幹線道路と市街地の骨格となる都市計画道路穂波通線をはじめ、市道の整備を計画的、効率的に促進し、市街地内の交通量の緩和に努めてまいります。

道路の老朽化対策につきましては、橋梁の点検を計画的に実施するとともに、引き続き橋梁長寿命化修繕計画や舗装修繕計画などに基づき計画的に修繕を実施し、安全で安心なまちづくりを進め、道路の適正な管理を図ってまいります。

JR・名鉄弥富駅周辺においては、JR・名鉄線で分断された南北の連絡を確保し、駅のバリアフリー化を進め、安全性・利便性を向上させるため、駅自由通路および橋上駅舎化整備について、鉄道事業者の協力を得ながら、平成32年度末供用を目標に進めてまいります。平成28年度は、事業実施に向け鉄道事業者との協議および調査、概略設計を実施してまいります。

地域公共交通の取り組みにつきましては、公共交通として利用しやすく効率的な運行を更に進めるため、新たな「弥富市地域公共交通網形成計画」のもと取り組んでまいります。

港湾地域の整備促進につきましては、コンテナ貨物量の増大に対応するため、新たなコンテナターミナルの早期建設への要望を関係団体に行ってまいります。

快適で安全安心なまちづくり

●消防・防災の充実

弥富市津波避難計画の策定に取り組んでまいります。愛知県が実施した弥富市をモデルとした津波避難シミュレーションをふまえ避難者の状況や地域の実情に応じたものとして策定してまいります。

11月には「愛知県・弥富市津波・地震防災訓練」を愛知県と弥富市、消防、自衛隊など行政機関と自主防災会などとの合同による訓練を予定しております。この訓練による災害時における総合防災体制の確立と市民の防災意識の高揚を図ってまいります。

避難場所の確保として、新たに大藤小学校・桜保育所・西部保育所の屋上整備を計画的に進めます。また、民間施設の避難場所確保にも引き続き取り組んでまいります。

救急救命処置として、AED(自動体外式除細動器)を公共施設のほか、市内のコンビニエンスストアの協力により21か所に設置しておりますので、この周知徹底を図ってまいります。

●防犯・交通安全の充実

防犯・交通安全の取り組みにつきましては、駅前などの公共性の高い場所への防犯カメラ設置を拡充すると共に自治会への防犯カメラ設置補助を継続して実施してまいります。

防犯灯につきましては、市内全灯のLED化が完了しており、CO_2削減による低炭素社会の実現や防犯灯に係る経常経費を節減し安全で安心なまちづくりを推進します。

交通安全の取り組みとしましては、中六地内のJR・名鉄弥富駅西側の踏切に朝誘導員を配置して交通安全に取り組みます。

高齢者向けの交通安全教室や出前講座などを開催し、警察・交通安全推進協議会などとの連携のもと死亡事故の根絶を目指してまいります。

●治水安全度の向上

農業集落排水事業につきましては、既存施設の処理機能を維持していくため、機器などの更新を目的とした機能強化対策を計画的に進めるとともに、供用3年目となる十四山東部地区の接続促進を図り効率的で健全な運営に努めてまいります。

市域のほとんどが海抜ゼロメートル地帯である本市においては、ゲリラ豪雨に対応するため、引き続き市街地の雨水排水対策として、準用河川の整備を進めてまいります。

市民が健康で安全かつ文化的な生活を営むことのできる自然と調和の取れた豊かな環境を確保し向上させ、将来の世代へ継承していくため、環境保全を積極的に推進してまいります。

●廃棄物処理等環境衛生の充実

ごみの減量化、資源化など市民と行政が協働してごみ減量とリサイクルの取り組みを続けてまいります。平成28年6月より、水銀使用製品を適正に処理を行うための蛍光管回収を行ってまいります。

ごみの不法投棄対策については、市内パトロール体制の充実を図り、ごみの不法投棄の防止および適正処理に努めてまいります。

健やかでやさしいまちづくり

●健康づくり・医療体制の充実

生涯を通じて元気で生き生きと暮らすことを目指し、市民の皆さま一人ひとりが、より良い生活習慣を心がけ、互いに支えながら地域社会全体で健康づくりに取り組んでいかなければなりません。

健康寿命のさらなる延伸、健診体制の充実など「生涯健康なまちづくり」を目指してまいります。

各種がん検診事業、ワクチン接種や予防接種など効果的な疾病予防の取り組みや妊娠、出産、子育てにおいて、切れ目のない支援のための相談・支援体制の確立に努めてまいります。

施設整備が進められております海南病院が、平成28年秋には外構を含めたすべての施設整備が完了いたします。地域の基幹病院として、安全で安心な、地域から信頼される病院として、更なる医療の向上に貢献するものと考えております。

●子育て支援の充実

人口減少の要因となっている少子化が進む背景には、仕事と子育てを両立できる環境整備の遅れや結婚・出産に対する価値観の変化、また、就労形態の多様化や核家族化の進展による子育てへの負担増、経済的な不安定さがあると言われており、このような子育てに対する不安を解消し、安心して子どもを産み、育てやすい環境を整備する必要があります。

新たな事業として、保護者が安心して子育てと仕事が両立できるよう海南病院の協力により、病児・病後児保育施設において、ファミリー・サポート・センターを活用した病児・病後児保育事業を平成28年4月から開始いたします。

市内3か所に設置している子育て支援センターでは、引き続き育児や子育てに関する相談体制や支援サービス内容の拡充を図ってまいります。

東部子育て支援センターでは、子育て訪問相談を行うとともに、ファ